

「文京区立中学校部活動地域移行実施計画 2026（素案）」に対する意見

1 小学校PTA連合会 令和7年1月14日（火）**【肯定的意見】**

- 1 合同部活動で「エンジョイ」や「がつつり」のように分かれることは望ましい。
- 2 民間指導者への移行が計画されていることは前向きな変化と捉えられる。
- 3 生徒の選択肢を増やすため、今後の検討を続ける姿勢は評価できる。

【懸念や不安】

- 1 勝ちを目指す生徒がクラブチームに所属せざるを得なくなり、金銭的負担が生じる可能性が懸念される。
- 2 チーム数が減る（合同になるため）ことにより、出場機会の減少が心配される。
- 3 学校単位で大会に勝ちたい生徒が満足できない可能性がある。

【そ の 他】

- 1 合同部活動で統一したコンセプトをもつことの検討が必要。
- 2 大会について、中体連からの情報が必要。
- 3 教員と民間指導者間の連絡手段を考え直す必要がある。

2 中学校PTA連合会 令和7年1月20日（月）**【肯定的意見】**

- 1 生徒が部活動とクラブチームを自由に選べる点は柔軟で良い。
- 2 生徒のニーズを確認し、選択肢を提供する取り組みは評価できる。
- 3 シーズン制など新しい形式の導入が生徒に新鮮さを提供することができる。

【懸念や不安】

- 1 勝ちを目指す生徒への対応が不透明で、取り組みに偏りが生じる可能性がある。
- 2 部活動の規模感や教員の負担が明確でないため、不安が残る。
- 3 塾と部活の両立が難しくなり、生徒が運動を諦める可能性がある。

【そ の 他】

- 1 クラブチームでの大会の位置づけについて、他の団体と協力する方法が必要。
- 2 教師と生徒の関係性を重視する意義について、継続的に検討が必要。
- 3 新たな連携モデルや指導者確保の方法について、今後の検討が重要。

3 青少年委員定例会 令和7年2月12日（火）**【肯定的意見】**

- 1 地域移行において検討委員会の設置は必要不可欠と考える。
- 2 部活動の教育的側面を重視することは評価できる。
- 3 地域移行の推進は、教員にとってのメリットもある。

【懸念や不安】

- 1 費用負担が発生することで、金銭的に余裕のない生徒が参加を諦める懸念がある。
- 2 地域や事業者に移行することで、教育部署の縦割りによる関与不足が懸念される。
- 3 指導者が暴力的だったり、変更が相次いだりした場合の対応が不透明。

【そ の 他】

- 1 合同部活動やクラブチームの違いを明確にし、子どもたちの気持ちをケアすることが重要。
- 2 責任の所在と指導者の質の確保が重要な課題。
- 3 教員と事業者の役割分担を明確にし、適切な監督体制を構築する必要がある。

4 地域コーディネーター連絡会 令和7年2月17日(月)

【肯定的意見】

- 1 部活動の教育的側面を重視するなど、教育内容を手放さないことが評価される。
- 2 指導者の資格やスキルの確保が重要視されているところがよい。
- 3 合同で行う活動が生徒に良い影響を与える可能性がある。

【懸念や不安】

- 1 外部指導者や社会教育への移行が教育としての意義を損なう懸念がある。
- 2 土日だけの活動移行が子どもに悪影響を及ぼす可能性が高いという懸念がある。
- 3 費用の問題や指導者の質の低下による影響が心配される。

【そ の 他】

- 1 学校内での情報共有が必要となる。
- 2 部活動中の管理責任や事故対応についての体制が必要。
- 3 適切な予算配分や教育現場の待遇改善についての議論が必要。